

## もしも、のために知っていただきたいこと

- 定期の予防接種による副反応のために、医療機関で治療が必要になったり、生活が不自由になったりしたとき(健康被害)は、法律に定められた救済制度(健康被害救済制度)があります。
  - 制度の利用を申しこむときは、お住まいの市町村にご相談ください(制度を利用するためには、一定の条件があります)。
- ※詳細は、厚生労働省HPをごらんください。「予防接種 救済制度」で検索できます。

### シリーズのご紹介

このリーフレットは、法律ですすめられている定期接種のうち水痘ワクチンを「きょう」接種するお子さんと、その保護者のみなさまのために、かならず知っておいていただきたい内容をまとめたものです。

そのほかの定期接種についてまとめたシリーズと、あわせてお読みください。



#03  
DPT-IPV  
ワクチンのはなし



#04  
BCG  
ワクチンのはなし



#05  
MR  
ワクチンのはなし



#06  
日本脳炎  
ワクチンのはなし



#07  
水痘  
ワクチンのはなし

各リーフレットは、厚生労働省HPおよび予防接種リサーチセンターHPからダウンロードできます。「予防接種 リーフレット」で検索できます。



#01  
Hib  
ワクチンのはなし



#02  
小児の肺炎球菌  
ワクチンのはなし

くわしくは  
「予防接種と子どもの健康」  
(発行：公益財団法人予防接種リサーチセンター)

をごらん  
ください。



医療機関名

# きょう

きょう 予防接種をうける  
お子さんと、保護者のみなさまへ

水痘(水ぼうそう)ワクチンのはなし



# #07

# きょうの予防接種を安心してうけていただくために

#07 水痘ワクチンのはなし

水ぼうそうのワクチンも定期接種になったんだ!



## 水痘ワクチンって?

- ◆水痘は、ウイルスにふれたり、ウイルスを口や鼻などから吸いこんだりすることで感染する病気です。うつりやすい病気で、一人がかかると、家族やまわりの人たちに広がってしまうこともあります。
- ◆水痘にかかると、熱がでたり、なかに水が入ったぶつぶつができたりします。まれですが、重くなると命にかかわることもあります。
- ◆水痘ワクチンを接種することで、体のなかに水痘への抵抗力(免疫)ができます。
- ◆水痘ワクチンを1回接種すれば、水痘にかかることはあるものの重症になることはほとんどなくなり、2回接種すれば、水痘にかかることもほとんどなくなるといわれています。
- ◆このワクチンは1歳になってから接種し始めます。

○予防接種をうけても、お子さんの体質や体調によって完全な免疫ができないことがあります。

- 小さなお子さんは動かないように、しっかりと抱っこしてあげてください。保護者のみなさまがリラックスすると、お子さんも安心します。
- 注射で泣くお子さんは多いもの。大切な予防接種が苦手にならないように、がんばったことをほめてあげるなど、保護者のみなさまの工夫がカギです。



3

## 接種後の注意

- 接種直後、30分くらいはすぐ対応してもらえるように、医療機関のなかでお子さんの様子をみてあげるか、すぐに医師と連絡がとれるようにしてください。この間に急な体の変化がおこることがあります。
- 帰宅後もはげしく体を動かすことはさげさせ、接種個所をきれいに保ってあげましょう。
- おふろには入れてもかまいませんが、接種個所をこすらないでください。

予防接種をうけたことは将来、その病気に対して免疫があることを示す大事な記録となります。母子健康手帳は大切にとっておきましょう。

1

## 当日はココをチェック

- お子さんの体調はよいか、熱があつたり、ふだんと変わったところはないか確認しましょう。
- 心配なことがあるときは、医師に相談しましょう。質問をメモしておくとなんか伝わりやすくなります。
- 母子健康手帳はかならずもっていきましょう。



2

## ワクチンを接種するときのポイント

## おこるかもしれない体の変化(副反応)

- ◆健康な子どもや大人では、ほとんど体の変化はみられませんが、ときに熱がでたり、ぶつぶつができたりします。
- ◆まれに接種個所が赤くなったり、はれたり、かたくなったりしますが、数日で消えます。
- ◆きわめてまれにアナフィラキシー<sup>1)</sup>、血小板減少性紫斑病<sup>2)</sup>などの重い病気にかかるといわれています。

- 1) アナフィラキシー：急激なアレルギーにより、じんましんができて呼吸が苦しくなったりします。
- 2) 血小板減少性紫斑病：かさぶたをつくる働き血小板の数が少なくなって、出血しやすくなってしまいます。皮膚の下で出血して青あざができて、歯ぐきから血がでたりします。

○予防接種をうけた後、気になる症状や体調の変化があらわれたら、すぐ医師に相談してください。

